

製造業における国際分業体制の進展と 国内生産拠点の外国人労働力需要

製造業企業の海外展開に関する最新の状況を現地日系企業の経営状況を通じて把握し、アジア諸国への今後一層の進出を展望するとともに、特定地域での外国人労働者に対する雇用需要への影響について考察した。

浜松地域における企業アンケートならびにヒアリング調査結果から、①中小企業も積極的に海外展開に取組みはじめていること、②海外事業展開がこの地域での自動車部品メーカーの生産縮小に必ずしも直結しないこと、③外国人労働者への雇用需要は拡散し、直接雇用の形態が少なくなっている、などの知見が得られた。

◆研究委員会メンバー

〈主 査〉依 光 正 哲 一橋大学 教授
石 田 耕 司 静岡県中小企業団体中央会 浜松事務所所長
永 井 孝 一 浜松市商工部産業立地課 課長補佐
大 竹 和 正 全国中小企業団体中央会 情報事業部参事
佐 野 哲 日本労働研究機構 研究員

◆目 次

序 章
第1章 製造業における国際分業体制の進展
第2章 生産ラインの海外化に伴う研修生の受け入れ
第3章 浜松地域における企業の海外事業の展開と外国人労働者雇用
終 章 総括
付 録 調査票『企業の海外事業展開と外国人労働者雇用に関するアンケート調査』